

# 鑑賞 ①

西洋音楽は、特色ある名曲を集め、それぞれの着眼点を明確に示しました。曲の解説や、音楽史的背景を説明した「音楽史羅針盤」などから、多角的に理解を深め鑑賞します。

## 鑑賞のねらい

「何を感じ取るのか」を明確に示しています。

## 体感する鑑賞

不規則で荒々しいリズムや刺激的な不協和音について調べ、身近な楽器などで演奏してみよう

46

### 斬新なリズムと響きによる表現を感じ取ろう

## 音楽史上の大事件となった『春の祭典』

1913年にパリで行われたバレエ『春の祭典』の初演では、オーケストラがストラヴィンスキーの音楽の演奏を始めるやいなや、聴衆はその聴き慣れない音楽に対して大騒動を起こしました。

『春の祭典』の音楽は、それまでの音楽ではほとんどみられない新しい表現方法を用いていて、それはまた20世紀以降の音楽にみられるようになる特徴の一つでもありました。ここでは、『春の祭典』の第1部から『春の兆し—乙女たちの踊り』の部分の聴き、この曲の斬新さや魅力を味わいましょう。



バレエ『春の祭典』の初演の復活上演(マリインスキー1913年5月29日に初演された『春の祭典』は、この最初のシーズンを飾る公演だった。ちょうど100年で初演時の振り付けや舞台美術、衣装などを再現した)

初演の行われたシャンゼリゼ劇場での復活公演の写真を掲載!

バレエ音楽 春の祭典 から 春の兆し—乙女たちの踊り

ストラヴィンスキー

### ●リズムと和音を調べてみよう

初演を聴いた人々に鮮烈な印象を与えた『春の祭典』の音楽は、実際『春の兆し—乙女たちの踊り』の最初の部分を例に、リズムと和音の特

Tempo giusto ♩=50

### ●リズムの特徴を調べてみよう

- ・冒頭の8小節では、弦楽器群が不協和音の荒々しい響きで拍を刻み、原始的な雰囲気をつくり出しています。拍には、不規則にアクセントがつけられています。
- ・8本のホルンは、弦楽器群と同じ和音を、アクセントのタイミングに合わせて鋭く吹奏するように演奏します。

### ◆リズムを打ってみよう

- ・4分の2拍子を意識しながら、①(ホルンのリズム)と②(弦楽器群)
- ・2つのグループに分かれて打ったり、①と②のリズムを1人で打

### ●使われている和音とその組み合わせを調べてみよう

この部分は、下に示した2つの和音

### 音の重なり

半音のぶつかりが不協和な響きを生み出します。

### ◆演奏してみよう

いちばん上の譜例の4つの段を、キーボードやピアノなどで演奏し

西洋音楽の鑑賞

### ●『春の祭典』の初演の批評を読んで、当時の人々の反応について考えてみよう

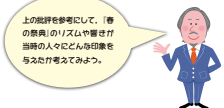
大騒動となった初演では、ストラヴィンスキーの音楽の刺激的な表現に対して賛否を訴える抗議の声と、反対にその表現に賛同する人々の声とが飛び交い、しまいはつかみ合いになって人が出るほどだったといわれています。音楽史上まれに見る大スキャンダルの様子は、当時のフランスの新聞批評などからうかがい知ることが出来ます。

「……リズムがすばらしい活気と驚くべき多様性を示しているとしても、旋律ははかばかに頼りない。和音にも特別な情懷はなく、楽想の発展や配置にも見るべきところが無い。要するに、この藝術作品の根本はひどく貧弱で、まったく原始的で単純である。だからこそ、その色あせた姿を際立たせたものに見せるために、乱暴で刺激的な外見的細工を施しているのだ」

【ルフィガロ】1913年5月31日付

「……イーゴリ・ストラヴィンスキー氏の尋常ならざる音楽については、確信もてないかもしれないが、肯定すべきであろう。理かたずなる誇張への明らかなる偏見がみられ、ときには極めて簡潔である。少なくとも我々1913年の人間には、そう感じられる。[中略]きんだ響きの執拗な連続の中には、注目すべき旋律的輪郭が浮かび上がり、魅力的なリズムの生命が躍る。色鮮やかな和音の花々が咲き持っているというのに、我々にはそれが理解できないのだ」

【ルヴランセーズドミュージック誌】1913年6月7月号



上の批評を参考に、『春の祭典』のリズムや響きや当時の人々に対する印象を自分の考えを記述するスペース

自分の考えを記述するスペース

イーゴリ・ストラヴィンスキー Igor Stravinsky (1882—1971)は、ロシアの作曲家、バレエのディレクターから発展した3つのバレエ音楽(『春の祭典』)によって『リデ』でセンセーショナルなデビューを果たし、現代の音楽となった。特に『春の祭典』は、音楽界に対する原始的な批評によって賞なり、さまざまなイデオロギイを帯びている。1999年にアメリカで、1999年に東京で、NHK交響楽団が演奏した。その後、ロシアの『祭典』の作曲家のクワイエを聴いて絶賛し、批評が絶賛に評価されるきっかけとなった。



## 作曲者に関する情報

鑑賞に必要な作者の情報を簡潔に示しています。

## 楽曲に関する情報

作品への興味・関心がより深まる情報を示しています。

がやってくる。



### ●『春の祭典』初演時のバレエの様子を見てみよう

初演が大スキャンダルとなったのは、音楽の斬新さだけでなく、バレエの原始的な振り付けにも原因がありました。それまでのバレエの優雅な舞踏といったイメージからかけ離れた、粗野でどこにもない動作による『春の祭典』の踊りが、当時の人々の目にもとくに映ったのか、想像してみよう。

バレエ『春の祭典』第2部から



【メデア】1913年5月31日付に掲載された『春の祭典』初演時のバレエダンサーの写真

足を内股にしたり、首や腕を不自然に曲げたりして、自ら自らする荒々しいリズムのペースとは違っているね。

西洋音楽の鑑賞

初演のスキャンダルは、音楽以外にも原因があったことを、当時の新聞に掲載された写真とともに伝えます。

# 多くの作曲家に引用された旋律を聴き比べる

グレゴリオ聖歌の《怒りの日》の旋律は、多くの作曲家をひき付け、さまざまな作品が生まれ出されました。

指導用CDでは、5曲それぞれの《怒りの日》の旋律部分を取り出して聴けるようにします。また、指導書に「オリジナリティーとは何か」と題し、この鑑賞企画の解説を掲載します。

## 特定のイメージを呼び起こす旋律を聴こう

### 時代を超えて鳴り響く《怒りの日》

19世紀、ロマン派時代の芸術は、空想の世界を求め、ロマン派と呼ばれる芸術思想に、ロマン派の芸術家たちは、過去の世界、異国の世界、夢の世界、魔法の世界、民話の世界から創作の題材や着想を得たのです。

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

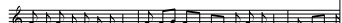
(教科書P.46~49)

47

### 怒りの日

グレゴリオ聖歌は、中世の時代にローマ・カトリック教会が聖歌として整理された聖歌で、聖歌による単旋律の音楽です。原則として独唱で歌われます。

《怒りの日》の旋律は、13世紀初めにつくられたものと考えられています。《怒りの日》の歌詞は、聖書に記されているキリスト教の終末思想を表しています。世界の最後の日、キリスト死者たちがあがり、最後の審判が下されて天に昇る魂と地獄へ行く魂とに分けられるとされています。



Dies Irae, Dies Irae, Solvet saepe dnm, in fa-vi-lis Ter-rae, Da-

### この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

**作曲家の例** (モーツァルト)

モーツァルトは、この時代の作曲家で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

**作曲家の例** (ベートーヴェン)

ベートーヴェンは、この時代の作曲家で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

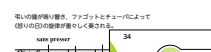
**作曲家の例** (シューベルト)

シューベルトは、この時代の作曲家で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 幻想交響曲 から 第5楽章 魔女の夜夢

ベルリオーズ

「幻想交響曲」は、「ある音楽家が美しい女性に恋をするが失敗し、その思いのままに夢の世界に落ちていく。夢の中で、愛する女性と交わる。夢を見る」という物語に基づいて作曲されています。《怒りの日》の旋律が用いられているのは、魔女の夜夢の場面です。その旋律が用いられているのは、魔女の夜夢の場面です。その旋律が用いられているのは、魔女の夜夢の場面です。



この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 交響詩 死の舞踏

サンサーンス

「交響詩」は、物語の筋を音楽で表現する形式です。《怒りの日》の旋律が用いられているのは、死の舞踏の場面です。その旋律が用いられているのは、死の舞踏の場面です。その旋律が用いられているのは、死の舞踏の場面です。



この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 交響曲 第2番 (復活) から

ブラームス

「交響曲」は、管弦楽のための音楽です。《怒りの日》の旋律が用いられているのは、復活の場面です。その旋律が用いられているのは、復活の場面です。その旋律が用いられているのは、復活の場面です。

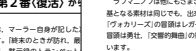


この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### バガニニの主題による狂詩曲 から 第24楽章

ラフマニノフ

「狂詩曲」は、管弦楽のための音楽です。《怒りの日》の旋律が用いられているのは、バガニニの主題による狂詩曲の場面です。その旋律が用いられているのは、バガニニの主題による狂詩曲の場面です。その旋律が用いられているのは、バガニニの主題による狂詩曲の場面です。



この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 映画「天地創造」にも使われた《怒りの日》

ジョン・ストークスの映画「天地創造」(1966年公開)は、聖書のアダムとイブ、ノアの方舟、バベルの塔の物語を扱った大規模な映画です。この映画の音楽を担当したのは、ジョン・ストークスです。《怒りの日》の旋律が用いられているのは、バベルの塔の場面です。その旋律が用いられているのは、バベルの塔の場面です。その旋律が用いられているのは、バベルの塔の場面です。

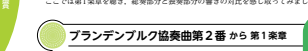


この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### オーケストラと独奏楽器との掛け合いや対比を楽しもう

### バッハの協奏曲を聴こう

「ブランデンブルク協奏曲第2番」は、オーケストラ全員が活躍する協奏曲で、トランペット、リコーン、オーボエ、ヴァイオリン4つの楽器による独奏楽器と対比する協奏曲です。このような独奏と独奏楽器の対比は、協奏曲の醍醐味の一つです。この曲は、協奏曲の醍醐味の一つです。この曲は、協奏曲の醍醐味の一つです。



この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 高校生が演奏経験のあるリコーダーが含まれている楽曲を掲載。

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### リズム!

### リズム打ちをしてみる

リズムは音楽の骨格です。リズム打ちをすることで、音楽の骨格を理解することができます。リズム打ちをすることで、音楽の骨格を理解することができます。リズム打ちをすることで、音楽の骨格を理解することができます。



この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 音楽史羅針盤

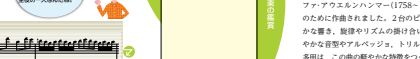
### 鑑賞曲と関係するジャンル史などのコラムを随所に掲載しています。

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 交互に繰り返される音型の特徴を理解しよう

### 2台ピアノが織りなす響きを聴こう

モーツァルトの2台ピアノのためのソナタは、モーツァルトが作曲したピアノソナタです。このソナタは、2台のピアノが交互に繰り返される音型を特徴としています。このソナタは、2台のピアノが交互に繰り返される音型を特徴としています。このソナタは、2台のピアノが交互に繰り返される音型を特徴としています。



この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 『のだめカンタービレ』から名曲をチョイス。

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 曲を聴くときのポイントを示しています。

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 古典派の作曲家が活躍した時代

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 20世紀初頭の音楽

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 19世紀後半のフランス音楽の自覚

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

### 音楽史羅針盤

この時代の作曲家は、こうした世界を描く作品中で、死や不安を暗示したり表現したり、グレゴリオ聖歌の《怒りの日》を用いることもありました。その旋律は西洋文化圏の人々に広く知られ、作曲家をひき付けました。ここではグレゴリオ聖歌の《怒りの日》を例に、その旋律が使われた曲を聞いてみましょう。

※「音楽の喜び」(P.64~105)のコーナーにも各ジャンルを深く知ることができる「音楽史羅針盤」を掲載しています。

「19世紀ロマン派のイタリアオペラ」「ドイツ語の歌曲の歴史」など4項目。

# 鑑賞 2

日本の伝統音楽では、文楽と能を取り上げ、自国の音楽文化についての理解を深めます。

## 文楽『一谷嫩軍記』

1年生の長唄に続き、2年生では文楽の義太夫節を鑑賞し、声や発声などによる表現の違いを感じ取ります。

## 鑑賞から表現への展開

太夫の語りと三味線の特徴をよく聴いて…



義太夫節の特徴を感じ取り、日本の伝統文化に親しもう

### 文楽(人形浄瑠璃)『一谷嫩軍記』《組討の段》

並木宗幹作

「義太夫節」は、17世紀末に大阪(現在の大阪)で竹本義太夫(1651~1714)が始めた浄瑠璃で、「文楽」の音楽として生まれました。上方文化によって育まれた義太夫節は、日本人の「情」を描いた長大な物語を、語り手である「太夫」と三味線の奏者である「三味線弾き」で演奏します。

●p.52(太夫と三味線)  
\*浄瑠璃：三味線を伴う語り(物語を語ることを主体とした音楽)の総称。

#### 作品について

「一谷嫩軍記」は享和元(1751)年に初演された作品で、全五段からなる「時代物」です。時代物とは、江戸時代以前につくられた文学作品や江戸時代のお家騒動を題材にして、武家社会を中心に描いた傑作です。

「一谷嫩軍記」の二段目(組討の段)は、「平家物語」の「筑紫篇」を題材にした作品です。16歳の若さで一谷の戦いに出席した平家の武将平致忠と、源氏の武将源次郎重実の対決を中心に展開され、「一谷嫩軍記」最大の山場、三段目(備前篇)の段(●p.52)で明かされる、悲劇の発端となる重要な段です。

#### 聴きどころ

右に示した箇所は、《組討の段》の冒頭部分です。義太夫による表現の工夫を知り、イメージをもって聴きましょう。

- 能の「節」を取り入れた語りの表現**：この節は、節の律式を取り入れて語ります。これを「節ガカリ」といい、ここでは能「節」から取り入れた節巻を謡風に、荘重な雰囲気です。●p.54(節巻)
- 波の感じを三味線で表現**：この節は、三味線が「テン・テン」と1つの音を繰り返して演奏します。この音は、須磨の浜辺に打ち寄せる大波(伊波女波ともいふ)を表現しています。
- せりふを三味線の演奏にのせて語る**：義太夫では、せりふは原則として三味線を伴わずに語りますが、●の音楽のせりふは、三味線の演奏ののってリズムカルに語ります。これを「節ノリ」といいます。

#### 詞章の現代語訳

やがて、安徳天皇の御座船をはじめ、平家一門はみな海上に出たので、乗り遅れまいと夜打ち間に身を寄せたが、御座船も他の船もはるか沖合へと落ちのびた。無官の太夫致忠は、途中で船を見失った。御座船について、父経盛に自分の覚悟を告げようとして、浪の浜まで出たが、殊方の船は一艘もなく、仕方なく波間に身を任せ、沖合の船を目指した。そこへ後ろから源次郎重実が、「おお、おおい」と声をかけて、馬の足をやめて進んだ。「やあ、そこにおられるのは平家の名ある御座船であろう。殿に再中を見て逃げられるのは是非、引き返して参られよ。それがしは、筑紫の住人源次郎重実、一対の勝負、引き返されよ」と、筆論を差し上げて招き返し、「しばらく待たれよ」と大きな声で呼びかけた。

### 1 日本のお話(音楽)

【問題】  
物語本(2)の11頁をよみ、「二」の問をよみ、太夫が三味線を伴って歌っているところを説明しよう。

1. 去る程に、御船を始めて、一門御座船に浮かび乗り遅れ、汀に打寄れば、御座船も兵船も、遠かにのび給ふ。無官の太夫致忠は、道にて波を見失ひ、御座船に馳着いて、父経盛に身の事を告知らさすことありと、無官の磯辺へ出てられしが、船一艘もあらざれば、沖波に身を任せ、沖合の船を目指した。そこへ後ろから源次郎重実が、「おお、おおい」と声をかけて、馬の足をやめて進んだ。「やあ、そこにおられるのは平家の名ある御座船であろう。殿に再中を見て逃げられるのは是非、引き返して参られよ。それがしは、筑紫の住人源次郎重実、一対の勝負、引き返されよ」と、筆論を差し上げて招き返し、「しばらく待たれよ」と大きな声で呼びかけた。

2. 義太夫は、三味線を伴って歌っているところを説明しよう。

3. 「やあ、おおい」と声をかけて、馬の足をやめて進んだ。この「やあ、おおい」とは、三味線の演奏ののってリズムカルに語ります。これを「節ノリ」といいます。

4. 義太夫は、三味線を伴って歌っているところを説明しよう。

## 目で見る鑑賞

迫力満点の人形たちの写真から、舞台の様子や雰囲気イメージします。

## 詞章を手がかりに聴きどころを確認。

形を造る人形芝居。貞享元(1684)年、竹本義太夫の創始(竹本節)を創設、近松門左衛門を語り大好評を博した。「文楽」という通称は、19世紀に人形浄瑠璃を興行した植村文楽村に由来する。

(教科書P.50・51)

# 鑑賞 3

世界各地の諸民族に伝わる音楽やポップラー音楽を聴き、多様な音楽文化について学びます。

## 同じ物語を題材とした芸術の特徴を理解しよう

### 「ラーマ物語」を題材とした芸能

紀元前の古代インドで生まれたとされる「ラーマ物語」。その後も文芸に育ち、舞臺や映画、音楽など多岐にわたる芸術形式で、多くの人に愛されてきました。今日、アジアでも有名な物語の一つとなっています。中でも、3世紀頃に、インドの人アール・ヴァルミヤが著した「ラーマ物語」が有名です。この物語は、全篇、2万4000詩行からなる長篇詩です。その内容は、北インドのコーサラ国の王子ラーマ、妻シヤタラ、弟ラクシュマナが、悪魔ハヌマの力を借りて魔王ワラハを倒し、請願されたシヤタラ姫を救い出すというものです。

### カタカリ

カタカリは、インド南部ケララ州のラーマ物語に基づいた民間舞臺の一種です。16~17世紀頃の南インドの南西部、ヒンドゥー教で神話のみならず、上流社会でも流行した。カタカリは、舞臺だけでなく、音楽、文学、演劇、彫刻などさまざまな芸術形式で表現されています。ここでは、ラーマ王子と魔王ワラハの戦いを題材として、異なる芸術形式を比較し、それぞれの芸術形式の特徴を理解しよう。

### 踊り場に描かれた「ラーマ物語」



### さまざまな音楽表現とその演奏の違いを感じ取る

#### 世界各地の文化が育んださまざまな音楽表現

世界各々の民族は、それぞれの歴史や生活の中で独自の文化が育まれました。伝承されてきた、人々の歌や舞臺などによって、さまざまな音楽表現が生まれました。何を表現しているか、どのような楽器や演奏スタイルを用いているかなど、それぞれの音楽表現を理解して世界の音楽表現の違いを感じ取りましょう。

### アンブゾラ

アンブゾラは、一般に音階や調性を感じ取ることができず、音程に敏感な人々の語りです。アンブゾラは、音階や調性を感じ取ることができず、音程に敏感な人々の語りです。アンブゾラは、音階や調性を感じ取ることができず、音程に敏感な人々の語りです。

### ウラノヴィオ

ウラノヴィオは、ロシアの民間楽器です。「ウラノ」は「天」を意味し、「ヴィオ」は「弓」を意味します。ウラノヴィオは、ロシアの民間楽器です。「ウラノ」は「天」を意味し、「ヴィオ」は「弓」を意味します。

### チューニョの花が咲く頃に

アンデス地方  
アンデス地方の民謡です。花が咲く頃に、チューニョの花が咲く頃に、アンデス地方の民謡です。花が咲く頃に、チューニョの花が咲く頃に、アンデス地方の民謡です。

### カタカリ

カタカリは、インド南部ケララ州のラーマ物語に基づいた民間舞臺の一種です。16~17世紀頃の南インドの南西部、ヒンドゥー教で神話のみならず、上流社会でも流行した。カタカリは、舞臺だけでなく、音楽、文学、演劇、彫刻などさまざまな芸術形式で表現されています。

### カラワラの調べ

フィンランド  
フィンランドの民謡です。カラワラの調べ、フィンランドの民謡です。カラワラの調べ、フィンランドの民謡です。

(教科書P.58~61)

